



## 2017年の調査・研究での来館者

しゅうじ 関口修二氏 (東京学芸大・院)



しゅうぞう せきついで 収蔵されている脊椎動物化石の調査をされました (1/6-7)。

つじの やすゆき とくしま 辻野泰之学芸員 (徳島県博)



アンモナイトの3Dデータをとられました (6/17)。

きとう じゆん 佐藤たまき准教授ほか学生4名 (東京学芸大)



くびながりゅう 首長竜産地の調査とその周辺の地層観察 (写真) をしました (9/11-13)。

### 博物館実習受け入れ



ちようさ あきら 太田晶氏 (北大・院)



はくあき 白亜紀の化石と地層の調査をされました (4/22)。

ますかわげんや 増川玄哉氏 (茨城大・院)



収蔵アンモナイトの調査をされました (9/1)。

よしひろ おおさか 田中嘉寛学芸員 (大阪自然史博)



クジラ化石の調査をされました (10/18)。

重田康成グループ長 (国立科博、写真奥)・伊豆倉正隆氏 (札幌市)



アンモナイトの観察と研究の打ち合わせをしました (4/26)。

れんきょうじゆ 平山廉教授 (早稲田大)



ウミガメ化石の調査をされました (9/7)。

よしつぐ 小林快次准教授 (北大博、写真右)



むかわ竜の調査を進めました (10/25、11/17)。

しやく 学芸員資格取得のための、博物館実習の希望がありましたので、8/1-6まで北大学生1名を受け入れました。希望者がいたときのみ受け入れてきたので、今回の受け入れが11年ぶりの博物館実習の受け入れとなりました。実習では化石資料の整理、普及イベント (恐竜デー) での展示解説 (写真) などを行っていただきました。

# むかわ町天然記念物<sup>しょうかい</sup>紹介

## ティロサウルス（未定種）

（むかわ町文化財<sup>ぶんかざい</sup>第 8 号）



ティロサウルス化石



実物大の生体復元模型<sup>ふくげんもけい</sup>

1985年に金子由三氏（上川町）によって発見・寄贈<sup>きぞう</sup>され、残りの部分<sup>ほべつ</sup>を穂別博物館<sup>さいしゅう</sup>で採集したモササウルス類の化石です。1994年に<sup>がくじゅつろんぶん</sup>学術論文\*で報告<sup>ほうこく</sup>されました。

この化石は、白亜紀カンパニアン期（8,300万～7,200万年前）産のもので、首長竜ホベツアラキリュウ産地のすぐ近くで発見されました。これは、これまでに日本から10点未満しか報告<sup>ほうこく</sup>されていないモササウルス類の頭骨<sup>とうこつ</sup>を<sup>ほぞんじょうたい</sup>ふくむ保存状態の良い標本で、全長は6.5mと<sup>すいてい</sup>推定されています。日本国内から産出している計5個体のティロサウルス<sup>あか</sup>亜科モササウルス類の1個体にあたるので、重要な標本です。

\*発表論文：地徳力，1994．北海道穂別地域産ティロサウルス（モササウルス類）について．穂別町立博物館研究報告，第10号，p.39-54.

学芸員 西村智弘



### ベビーカーの寄贈（公）日本博物館協会

公益財団法人日本博物館協会の一般財団法人日本宝くじ協会助成博物館整備事業として、2017年12月にベビーカーを1台寄贈していただきました。ご好意に感謝します。

## むかわ町穂別博物館

開館時間 9：30～17：00（最終入館 16：30）

観覧料 個人/小～高校生：100円

大人 300円

団体/小～高校生：50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

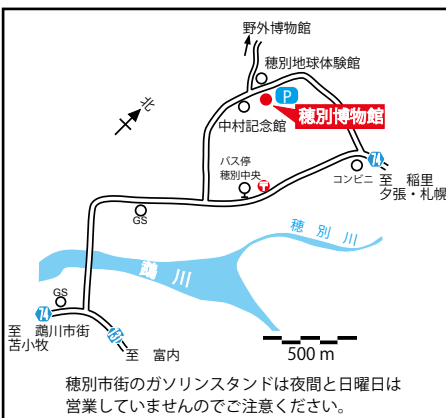
2018年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2018年2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

休館日 ○町民無料観覧日



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。